

事業所名

川口市心身障害福祉センターわかゆり学園 児童発達支援事業所

支援プログラム

作成日

令和7 年

2月

1日

支援方針		個々の特性に合った支援を受け、安心できる環境の中でのびのびと自分を表現し、生きる力を育てましょう。					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
項目	対象児	3・4・5歳児（ゆり組）		0・1・2歳児（すみれ組）		1・2歳児（たんぽぽ組）	
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ◎衛生管理や健康状態に配慮しながら、ひとりひとりの身体機能を高め、丈夫な身体づくりを支援する。 ◎発達状況に合わせ食事、排泄、着脱等自分でできることを増やし、学園での静と動のメリハリのある生活に慣れていくように支援する。 					
		子どもの身体状況や発達段階に合わせて、自ら身辺処理を行う意欲を育てる支援をする。		子どもの身体状況や体力に配慮し、親子が無理なく通い続けられるよう支援する。		たくさん身体を動かし、十分な休息をとり、メリハリのある生活が送れるよう支援する。	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ◎遊びを通して、姿勢保持や上肢・下肢の運動、関節の柔軟に取り組み、身体を自分で動かす楽しさを感じ、運動機能の維持・向上を支援する。 ◎視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を使う遊びを経験することで、感覚機能の維持・向上を支援する。 					
		身体の拘縮や変形に十分配慮し、安楽な姿勢を探り、子ども自身が心身共に心地よい状態を感じられるよう支援する。また、能動的な動きを引き出す支援をする。		遊びながら色々な素材を触ったり、見たり、聴いたりして、自分の身体の感覚に気付けるように支援する。		遊具遊びや感覚を使う遊びを通して、色々な身体の使い方を知り、好き・苦手な感覚に気づけるよう支援を行う。	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ◎認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるように支援する。 ◎遊びや人との関わりを通して、物の名称、形、色、音等の概念の形成を図り、認知や行動の手がかりにできるよう支援する。 					
		決まった声掛けで物事の始まりと終わりがわかりやすいように伝えたり、日々の生活の流れを大きく変化させずに習慣化して理解したり、自ら動けたりするよう支援する。		五感を刺激する遊びを行い、子どもの好きや苦手を探り、子どもの理解を深め、外界への意識を高めていくように支援する。		大人と一緒に身体や手先を使う遊びを行うことで、人や物への興味を広げ、適切な人との関わり方や物の使い方を学べるよう支援する。	
言語 コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ◎身近な大人に興味を持ち、視線を向ける、発声する、指差しをする等、コミュニケーションに必要な能力を身につけられるよう支援する。 ◎子どもの気持ちや要求に応じることで、相手に伝わった喜びを感じ、能動的に人に伝えられるよう支援する。 					
		要求を身近な大人に対して表出できるよう、子どもの発達段階に合わせた表現方法を身につける支援を行う。また、子どもとの共感を大切にし、普段の状態をよく観察して気持ちを汲み取り代弁することで、子どもの表出を促す。		子どもの表情、動作、発声の状態から、子どもの気持ちを推察して言葉にする。また、子どもの小さな表出に気づいて反応することで、より多くの表出を引き出す支援をする。		子どもの興味のある物や遊びに大人が寄り添い、視線を向けている物を言語化したり、やり取りの言葉を伝えたりし、共感し合うことで発声発語を促す支援をする。	
人間関係 社会性		<ul style="list-style-type: none"> ◎安心できる環境の中で、子どもの愛着の形成と安定を支援する。 ◎遊びを通して、興味のある人の模倣や、大人が仲介して他児との関わりを経験し、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 					
		安定した親子関係を維持し、子どもと職員の間にも愛着形成を図る。また、遊びを通して他児に关心を持ち、やり取りや集団でのルールを経験できるよう支援する。		子どもと保護者とのふれあい遊び等をすることで、自宅でも親子が楽しく遊んで向き合える良好な関係づくりを支援する。		子どもがうれしい時や困った時に、保護者と気持ちの共有ができるよう、職員が仲介して親子の遊びを広げ、良好な親子関係づくりを支援する。	

家族支援	<p>子育てに関する困りごとに対する相談援助。 子どもの成長、発達の共感・確認。 家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供。 子どもを取り巻く家族に関する相談。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子登園 ・個別面談 ・家庭訪問 ・保護者学習会 ・ペアレントサポートタイム ・園外保育 ・家族参加行事（運動会、家族参観、お楽しみ会） ・専門職（PT、OT、小児科医、公認心理師）相談 	移行支援	<p>保護者の希望に応じて、幼稚園、保育所等の地域への移行に向けた取り組みや、ライフステージの切り替えを見据えた取り組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移行先への情報共有（保育園、幼稚園、小学校、放課後等デイサービス） ・情報提供のみを希望する方向けのグループ
地域支援・地域連携	<p>子どもに関わる地域の関係者や関係機関との連携。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併用先訪問（保育所、幼稚園、児童発達支援事業所） ・交流保育 ・関係機関との連携 ・公開支援 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修 ・ケース会議 ・保育士会研修 ・園内研修（虐待防止、感染症、不審者対応） ・自己評価
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・入園、進級式 ・家族参観 ・プール遊び（夏季期間中） ・運動会 ・バス遠足 ・お楽しみ会 ・年長お別れ遠足 ・修了式 ・誕生会（季節の行事集会を含む） ・定期健康診断（内科・歯科） ・避難訓練 		